

# 第3期 中部WIN 最終報告会レポート

開催日時: 令和2年12月18日(金) 13:30~15:30

## 成果報告会

### Aグループ

New Normal Walking  
コロナがもたらした影響



### Bグループ

地域社会の  
コンシェルジュを目指して



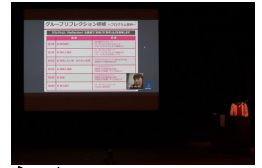
### Cグループ

「習い事」情報提供サービス  
～我が子の個性を伸ばすために～



### Dグループ

T SUMUGU  
Withコロナ時代のニューススタイル  
Work from Anywhere at Anytime



## 成果報告会の講評

あいぎ特許事務所 副所長・弁理士 廣田 美穂 氏



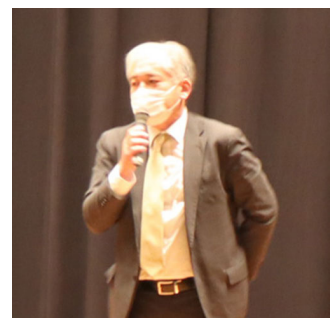
中部WINは素晴らしい取り組みだと思う。今すぐ社会実装できるのではないかと思う発表もあった。どのグループも自分たちが考えている身近な問題にフォーカスし、うまく言語化していた。実現性という意味では「やりたい事」と「収益性」が需要だが、踏み込んだところまで考えられていた。

今回の提案を実装する際の注意点として、名前を使用する時は、他者がすでに持っている権利に抵触しないかどうか、気に留めて使用する事が重要。せっかく走り出したのに、他者の権利に抵触していたため名称変更となることは避けたい。先に使用していたかどうかではなく、先に出願、登録した方が優先的に使用する権利があるため、商標登録が必要となる。

## 主催者挨拶・修了式

中部経済産業局長 畠山 一成

前回のディスカッションから短い時間で内容が随分更新され、密なコミュニケーションをとられてきたことが感じられた。これからの中部地域の女性活躍をリードし、切り開いていく方々だと思うので、これを機会に相互のコミュニケーションをこれまで以上に図っていただきたい。1、2期とのネットワークも大事に、なお一層発展して欲しい。そのためにも中部経済産業局でできるサポートはしていきたい。



記念撮影(会場参加のメンバー、サポーター、アドバイザーの皆様)